

中央卸売市場会計（令和２年度）

（１）財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

市場会計は、昭和47年度から平成元年度まで経常損益での赤字が続き、昭和63年度の旧神田市場等の跡地売却に伴う受取利息の増加により、平成２年度から平成６年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成７年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年４月に16%（12年度８%、13年度14%、14年度16%の段階的实施）の使用料改定を行い、平成19年度に企業債繰上償還による支払利息の圧縮を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて黒字で推移してきたが、平成28年度以降は、豊洲市場への移転準備経費の増加などにより、赤字となっている。

また、平成30年度に旧築地市場跡地の一般会計への有償所管換を行ったことにより、平成30年度決算の当期純利益は4,629億円となり、累積欠損金の処理に充当した後の未処分利益剰余金は約4,500億円となった。その後、当該未処分利益剰余金のうち3,626億円を、議会の議決により減債積立金に積み立てる利益処分を行った。

（２）令和２年度予算概要

中央卸売市場は、都民の日常生活に不可欠な生鮮食料品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため重要な役割を担っている。このため、令和２年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、1,051億１千５百万円で、令和元年度に比べ93.8%、金額で５08億６千６百万円の増加となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、235億４千５百万円となっており、収入と支出の差し引きでは５65億２千７百万円の支出超過となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が１79億９百万余円で、内訳は、売上高割使用料が３6億７千８百万余円、施設使用料が８8億５千４百万余円となっている。

営業外収益は、56億３千４百万余円で、内訳は、受取利息等が１9億２千３百万余円、一般会計補助金が３7億１千１百万円となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、235億４千４百万円である。

支出については、市場事業費の総額が３90億１千４百万円で、そのうち、営業費用が３37億２千６百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が１94億２千万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、１億７千２百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、１41億３千２百万余円である。

営業外費用は、41億９千２百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、22億１千４百万余円となっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、18億７千４百万余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地

方消費税、雑支出を計上した。

また、固定資産除却費及びその他特別損失として、特別損失を10億9千4百万余円計上している。

イ 資本的収支

収入は、その他資本収入の1百万円となっている。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は661億1百万円である。

このうち、建設改良費は58億9千3百万余円であり、内訳は施設拡張費が8億1千2百万余円、施設改良費が50億6千2百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が1千8百万余円である。

施設整備については、後述のとおり、平成29年2月に策定し、平成30年5月に改定した「第10次東京都卸売市場整備計画」に基づいて進めているところであり、今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内 容
豊 洲 市 場	給水設備改修工事(実施設計)
食 肉 市 場	センタービル中央監視制御設備更新工事
大 田 市 場	花き部屋根付駐車場整備工事
豊 島 市 場	受変電設備改修工事
淀 橋 市 場	総合事務所棟分電盤改修工事
足 立 市 場	低温卸売場低温設備更新工事
板 橋 市 場	花き棟防火シャッター更新工事
世 田 谷 市 場	空調設備更新工事
北 足 立 市 場	管理棟ほかトイレ改修工事（第2期）
多 摩 ニ ュ ー タ ウ ン 市 場	卸売場屋根改修工事
葛 西 市 場	花き棟照明器具取替工事

その他、企業債元金の令和2年度償還分である企業債償還金が600億円、投資が1億9千8百万円、国庫補助金返納金が9百万余円である。

(3) 令和2年度中央卸売市場会計予算総括表

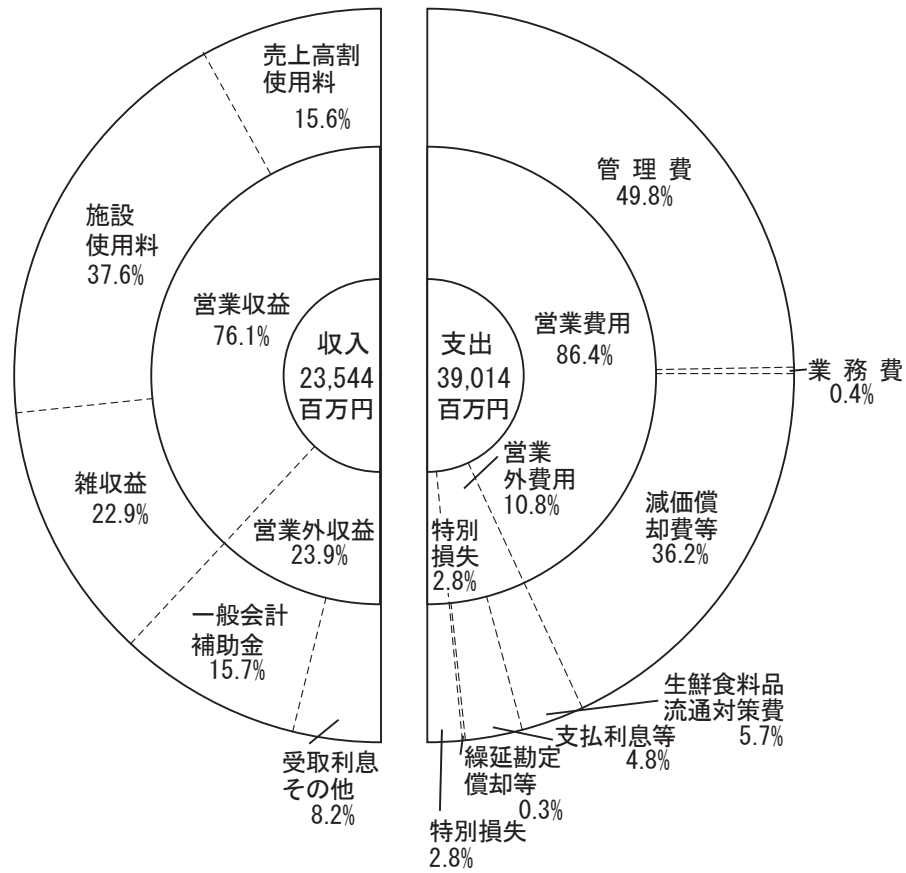
(単位：千円)

科 目				令和2年度 当初予定額	令和元年度 当初予定額	増（△）減
収 益 的 収 支	収 入	営業 収益	売 上 高 割 使 用 料	3,678,850	3,634,500	44,350
			施 設 使 用 料	8,854,150	8,740,500	113,650
			雑 収 益	5,376,119	5,923,370	△ 547,251
			計	17,909,119	18,298,370	△ 389,251
		営業外 収益	一 般 会 計 補 助 金	3,711,000	4,368,000	△ 657,000
			受 取 利 息 そ の 他	1,923,881	1,858,915	64,966
			計	5,634,881	6,226,915	△ 592,034
		特 別 利 益		0	53,926,715	△ 53,926,715
		合 計		23,544,000	78,452,000	△ 54,908,000
		支 出	営業 費用	管 理 費	19,420,612	20,091,556
	業 務 費			172,807	171,817	990
	減 価 償 却 費 等			14,132,886	13,940,142	192,744
	計			33,726,305	34,203,515	△ 477,210
	営業外 費用		生 鮮 食 料 品 流 通 対 策 費	2,214,055	2,984,329	△ 770,274
			支 払 利 息 及 企 業 債 取 扱 諸 費	1,874,737	1,918,738	△ 44,001
			繰 延 勘 定 償 却 等	103,739	41,711	62,028
			計	4,192,531	4,944,778	△ 752,247
	予 備 費		1,000	1,000	0	
	特 別 損 失		1,094,164	9,221,707	△ 8,127,543	
	合 計		39,014,000	48,371,000	△ 9,357,000	
	収 支 差 引 額			△ 15,470,000	30,081,000	△ 45,551,000
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債		0	1,533,000	△ 1,533,000
		一 般 会 計 出 資 金		0	0	0
		国 庫 補 助 金		0	0	0
		そ の 他 資 本 収 入		1,000	87,000	△ 86,000
		計		1,000	1,620,000	△ 1,619,000
	支 出	建 設 改 良 費		5,893,457	5,110,264	783,193
		企 業 債 償 還 金		60,000,000	0	60,000,000
		投 資		198,000	207,000	△ 9,000
		国 庫 補 助 金 返 納 金 等		9,543	560,736	△ 551,193
		計		66,101,000	5,878,000	60,223,000
	収 支 差 引 額			△ 66,100,000	△ 4,258,000	△ 61,842,000

(注) 資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、〔損益勘定留保資金その他〕をもって補てんする。

(4) 令和2年度中央卸売市場会計予算の構成割合

ア 収益的収支



イ 資本的収支

